

日本地質学会第117年学術大会 講演プログラム（口頭）

■9月19日（日）午前

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
		(トピック) 河口～内湾域 環境変動 座長：野村律夫 (35-38), 秋元和實 (39-42), 瀬戸浩二 (43-45)	(シンポ) 南海トラフ沈み込み帯 座長：金川久一 (25-28)・氏家恒太郎 (29-33)	(シンポ) 故藤田和夫追悼 アジアの山地形成論 座長：酒井治孝 (34-38), 竹村恵二 (39-42)
9:00		9:00 O-35 (招待) 樹木年輪による気候復元. 米延仁志・大山幹成・星野安治 9:15 O-36 能取湖の環境変化. 齊藤 誠・瀬戸浩二・高田裕行・香月興太・園田 武・川尻敏文・渡部貴聰 9:30 O-37 北海道東海跡湖群の古生態変遷. 香月興太・瀬戸浩二・齊藤 誠・園田 武 9:45 O-38 オホーツク海沿岸汽水湖群における近年の環境変遷. 瀬戸浩二・高田裕行・斎藤 誠・香月興太・園田 武・川尻敏文・渡部貴聰 10:00 O-39 青森県小川原湖における完新世古環境変動の高精度復元. 山田和芳・篠塚良嗣・吉田明弘・米延仁志・五反田克也・原口強・星野安治・稻垣哲也・奥野充・大山幹成・Tyler Jonathan・Turunen Saija・Saarinen Timo・林田 明・安田喜憲 10:15 O-40 気候変動に対する汽水生底生有孔虫群の応答. 高田裕行・瀬戸浩二・田中里志・坂井三郎 10:30 O-41 尼崎西宮芦屋港内における過去約100年間の有孔虫群集変化. 辻本 彰・上月雅代・吉川周作・山崎秀夫 10:45 O-42 人為的改変が進行した沿岸域における珪藻群集の動態. 廣瀬孝太郎・瀬戸浩二 11:00 O-43 汽水域における過去半世紀の有孔虫群集の変化. 野村律夫・中村光作・辻本 彰・河野重範・高田裕行 11:15 O-44 中世松江平野の古環境. 渡辺正巳・瀬戸浩二・石川 崇・落合昭久 11:30 O-45 音響機器およびAUVによるナメクジウオ生息域の環境調査. 秋元和實・竹内俊英・柴田耕治・島崎英行・逸見泰久	9:00 あいさつ. 橋本善孝・氏家恒太郎 9:05 S-25 (招待) 西南日本下の断続したフィリピン海プレート. 井出 哲・汐見勝彦・望月公廣・利根川貴志・木村 学 9:25 S-26 New subduction. 木村 学 9:40 S-27 沈み込み帯深部及び浅部におけるすべり過程のモデル化. 斎崎文一郎・伊藤喜宏 10:00 S-28 巨大分岐断層の高速せん断摩擦特性と微細構造. 氏家恒太郎・堤 昭人 10:15 S-29 (招待) 南海掘削におけるコアログーサイスマック統合解析. 真田佳典・キュー スーモー・木戸ゆかり 10:35 S-30 付加体のP波およびS波速度と堆積物組織. 橋本 善孝・マットクヌス・ハロルドビン・原田草伸 10:50 S-31 南海トラフへ沈み込む四国海盆玄武岩と火山碎屑岩類. 斎藤実篤・成瀬 元・小田啓邦・中嶋 健・佐藤 暢・石塚 治・山口飛鳥・亀田 純・新正裕尚・久保雄介・アンダーウッドマイク・IODP第322次研究航海乗船研究者 11:05 S-32 中新世における四国海盆の半遠洋性泥堆積速度. 成瀬 元・Pickering Kevin T.・Scudder Rachel・Kutterolf Steffen・Labanieh Shasa・Wu Huaijun・小田啓邦・Zhao Xixi・千代延 俊・Govil Pawan・中嶋 健・Underwood Michael B.・斎藤実篤・久保雄介・IODP Exp. 322 Shipboard Scientific Party 11:20 S-33 南海トラフ沈み込み帯と三浦・房総半島の付加体・被覆層システム. 山本由弦・斎藤実篤・金松 敏也・北村有迅・千代延 俊・亀田 純 11:35 総合討論	9:00 はじめに. 世話人 9:05 S-34 西南日本の山地と盆地形成. 竹村恵二 9:22 S-35 新潟・神戸歪集中帯のネオテクトニクス. 竹内 章 9:39 S-36 北アルプスの上昇テクトニクス. 原山 智 9:56 S-37 (招待) 山地と盆地形成のモデリング. 楠本成寿 10:13 S-38 地殻構造探査探査から見た近畿地方三角帯の水平短縮と長波長変形. 佐藤比呂志・石山達也・加藤直子・阿部 進 10:40 S-39 東南アジアの活構造と地震テクトニクス. 堤 浩之 10:57 S-40 チベット高原の上昇と活断層・地震テクトニクスについて. 林 愛明 11:14 S-41 (取消) ヒマラヤ・チベットの地物観測と数値モデル. 高田陽一郎 総合討論

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧下さい。

日本地質学会第117年学術大会 講演プログラム（口頭）

■9月19日（日）午前

会場	⑤ (C22)	⑥ (D21)
	(シンポ) ガスハイドレート	(シンポ) 島弧地殻で発生するメルト
	座長：佐藤幹夫（15-19），町山栄章（20-24）	座長：岡本和明（51-52），寺林 優（53-55），小林記之（56）
9:00	9:00 S-15 上越沖のガスハイドレート。松本 良 9:20 S-16（招待） 上越沖ガスハイドレート胚胎域のポックマークとハイドレート。弘松峰男・松本 良 9:40 S-17（招待） AUVによるガスハイドレート観察。浦 環・中谷武志・松本 良およびYK10-08乗船研究者 10:00 S-18（招待） 日本周辺のメタンハイドレート分布状況と佐渡南西沖賦存層解釈。佐伯龍男・島田忠明・古川稔子・林 雅雄 10:20 S-19 上越海盆西部メタンハイドレート分布域の熱流量稠密観測。川田佳史・築瀬裕次・町山栄章・木下正高・弘松峰男・松本 良 10:40 S-20 上越沖ガスハイドレートの間隙水地球化学。戸丸仁 11:00 S-21（招待） メタンのシンク/ソースとしての微生物活動の役割。柳川勝紀・砂村倫成 11:15 S-22 日本海最上部第四系の珪藻化石層序と黒色粒子の多産出。秋葉文雄・谷村好洋・松本 良 11:30 S-23（招待） 有機物組成とメタン湧水。フェルナンド・フレリ・松本 良・須貝俊彦 11:45 S-24 計量魚群探知機によるメタンブルームの観測とメタンフラックス。青山千春	9:00 シンポジウム趣旨説明 9:05 S-51（招待） 東日本下の太平洋スラブ内の上面地震帯と地震波速度構造の特徴。北佐枝子・岡田知己・中島淳一・松澤 暢・長谷川 昭・辻 優介 9:30 S-52（招待） 蛇紋岩化したマントルの地震学的イメージ。渡辺了 10:00 総合討論 I（沈み込み帯深部流体） 10:10 休憩 10:20 S-53（招待） 地震波トモグラフィから見た内陸地震と地殻流体の関り。岡田知己 10:50 S-54（招待） 肥後変成帯における高度変成岩類の部分溶融とメルト生成。小林記之・加藤睦実・柴田知之・小畠正明 11:10 S-55（招待） メルトからの流体分離による地震。岡本和明・土屋智彦 11:30 S-56（招待） 低圧型変成帯に残された地震発生場の化石。寺林優・山本啓司 11:45 総合討論 II（地殻流体と内陸地震）

■MEMO■

日本地質学会第117年学術大会 講演プログラム（口頭）

■9月19日（日）午後

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
	(定番) 地域間層序対比と年代層序	(定番) 環境地質	(定番) 付加体	(定番) 变成岩とテクトニクス
座長：岡田 誠 (84-85), 里口保文 (86-88)	座長：川辺孝幸 (225-228), 田村嘉之 (229-232), 吉田 剛 (233-236)	座長：山口飛鳥 (139-140), 内野隆之 (141-143)	座長：宮本知治 (194-197), 河上哲生 (198-201), 片山郁夫 (202-205)	
14:00 14:00 14:15 14:15 14:30 14:30 14:45 14:45 15:00 15:00 15:15 15:15 15:30 15:30 15:45 15:45 16:00 16:00 16:15 16:15 16:30 16:30 16:45 16:45 17:00 17:15 17:15	O-84 テフラ対比からみた古琵琶湖層群高島層の年代。里口保文・服部 昇・石田志朗・平尾藤雄・三矢信昭・佐藤ふみ O-85 飛騨高山盆地に分布する大規模火碎流堆積物と広域テフラ。田村糸子・山崎晴雄・水野清秀 O-86 南房総千倉層群の酸素同位体層序。岡田 誠・所佳実・松田 瞳・内田剛行 O-87 蝦夷層群における千年規模の解像度で求めた炭素同位体比変動。富永嘉人・長谷川 草・利光誠一 O-88 中国雲南省王家湾セクションにおける下部カンブリア系の詳細層序。日達宇彦・磯崎行雄・可児智美  (定番) 地域地質・地域層序 座長：吉川敏之 (64-66), 佐野弘好 (67-69), 中江 訓 (70-72) O-64 Deadman Bay terraneのトリアス紀海山崩壊堆積物。山縣 肖 O-65 中央ネバール、ジョムソン・マナン地域の下部三疊系の広域対比。吉田孝紀・大友和夫・川村寿郎・鈴木茂之・Dhital Megh Raji O-66 新第三系対州層群の堆積環境。二宮 崇・谷口翔・下山正一・宮田雄一郎・ダンクレイダニエル・松田博貴・山中寿朗・青木隆弘・西田民雄・市原季彦 O-67 御荷鉢緑色岩類の地質構造。村田明広・前川寛和 O-68 秩父南帶のジュラ紀-白亜紀前期付加コンプレックストと被覆層。石田啓祐・香西 武・ヒルシュ フランシス O-69 下部白亜系稻倉層の層序と堆積環境、岡山県南部。橘 徹・鈴木茂之 O-70 紀伊半島西部、中央構造線断層破碎帯から産出した花粉・胞子化石。松本孝之・政岡邦夫・興津昌宏 O-71 美濃帯ジュラ紀メランジュに産する珪質石灰岩の岩相と年代。高野敦史・佐野弘好・小嶋 智・尾上哲治 O-72 舟伏山地域のペルム紀・三疊紀境界珪質岩。佐野弘好・桑原希世子・八尾 昭・上松佐知子	O-225 前進する海岸での砂丘上に見られた液状化-流動化現象。風岡 修・佐藤光男・吉田 剛・古野邦雄・楠田 隆・香川 淳・酒井 豊・原雄・香村 一夫・佐藤賢司・榎井 久 O-226 地盤沈下観測井による上ガス連続観測。香川淳・古野邦雄・吉田 剛・山本真理 O-227 北総台地における常総粘土層の深度分布に関する研究。加藤晶子・風岡 修・楠田 隆・酒井 豊 O-228 観測孔内地下水の深度方向の温度分布。古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・加藤晶子・酒井 豊・山本真理 O-229 富士山の地下水と富士五湖の水の起源。奥水達司・戸村健児・尾形正岐・小林 浩・内山 高・石原 諭 O-230 市民・博物館・大学の連携による淀川水系の水質環境調査。中条武司・中口 讓・益田晴恵・里口保文・淀川水系調査グループ「プロジェクトY」水質班・琵琶湖博物館「水はしきけ」 O-231 河川改修と地下水流动変化。楠田 隆・吉田 剛・古野邦雄・香川 淳・風岡 修・加藤晶子・酒井 豊・山本真理 O-232 レアメタル元素および有害元素の地球化学的挙動に関する基礎研究。梶原雅博・小川泰正・土屋範芳 O-233 岐阜県神岡鉱山からの重金属流出。坂巻幸雄・小林武彦・石川孝穂 O-234 土壤汚染対策法指定調査機関による汚染調査の問題事例。酒井 豊・楠田 隆・風岡 修・古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・加藤晶子・山本真理 O-235 地質調査のあるべき方向。上砂正一 O-236 神栖市旧日本軍毒ガス弾原料のDegradation Products. 榎井 久・檜山知代・池田秀史・高畠英世	O-139 蒲原山地の付加体構造と足尾帯テクトニクス。内野隆之 O-140 紀伊半島四万十付加体新期屈曲構造。中屋志津男・紀州四万十帶団体研究グループ O-141 四万十付加体の多様性。鈴木博之・紀州四万十帶団体研究グループ O-142 沈み込む玄武岩の変質履歴。山口飛鳥・亀田純・北村有迅・斎藤実篤・木村 学・Underwood Mike・久保雄介・IODP第322次航海乗船研究者一同 O-143 付加体を構成する泥質物質の高速摩擦特性。堤昭人・氏家恒太郎  (定番) テクトニクス 座長：加藤直子 (144-147), 藤内智士 (148-151)	O-194 セールロンダーネ山地の炭酸塩岩の炭素、酸素同位体組成。土屋範芳・サティシュ クマール・河上哲生・石川正弘 O-195 東南極セール・ロンダーネ山地に産する $Al_2SiO_5$ 鉱物。河上哲生・石川正弘・サティシュ クマール・土屋範芳・吉田健太 O-196 南極セール・ロンダーネ山地、小指尾根の $hogbomite$ 。志村俊昭・赤井純治・亀井淳志・東田弘・大和田正明・柚原雅樹 O-197 超高温グラニュライト中のナノ花崗岩類。廣井美邦・柳 綾彦・加藤睦実・小林記之・フレームバーナード・外田智千・本吉洋一・白石和行 O-198 中国雲南省怒江地域に分布する特徴的な变成岩類。米村和絵・小山内康人・中野伸彦・大和田正明・馬場壯太郎 O-199 飛騨・陰岐の泥質岩の地球化学。加納 隆・中山智子・鐵原 渉 15:30 休憩 15:45 O-200 Zircon re-equilibration by fluids during metamorphism. Dunkley Daniel Joseph・Hiroi Yoshikuni・Suzuki Kazuhiro・Tani Kenichiro・Harlov Daniel 16:00 O-201 The Jurassic accretion of the Heilongjiang Complex, NE China. Li Weimin・Takasu Akira・Liu Yongjiang・Zhao Yingli 16:15 O-202 Sm-Nd and K-Ar ages of HP rocks from the Neldy F., Makbal, Togonbaeva Asel Altymyshovna・Takasu Akira・Kamei Atsushi・Shibata Tomoyuki・Tagiri Michio・Bakirov Azamat Almazbekovich・Bakirov Apas Bakirovich・Sakiev Kadyrbek Satybdynovich 16:30 O-203 長崎变成岩類形成とマントルコーナー流。宮崎一博・有馬和宏・池田 剛 16:45 O-204 变成帶の上昇過程の違い。板谷徹丸・ヌン N.D. 17:00 O-205 三波川变成岩中に共存する異なる累帶構造のざくろ石。榎並正樹

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧下さい。

日本地質学会第117年学術大会 講演プログラム（口頭）

■9月19日（日）午後

会場	⑤ (C22)	⑥ (D21)	⑦ (D22)
	(定番) 碎屑物組成・組織と続成作用 座長：太田 亨（99）	(定番) 噴火と火山発達史 座長：近藤 梓（175-177），長岡信治（178-180）	(トピック) 地学巡検・地学名所とガイドブック 座長：天野一男・齊藤眞（22-27），中井均・久田健一郎（28-34），総合討論：吉田勝・天野一男・中井均
14:00			14:00 O-22 (招待) ジオパークにおけるガイドブック・ガイドマップの重要性。渡辺真人
	14:30 O-99 黒瀬川帯デボン系～ジュラ系碎屑岩層の後背地。 宮本隆実・桑水流淳二・早坂康隆	14:00 O-175 九重火山、長岡信治・奥野 充 14:15 O-176 桜島火山の地質。小林哲夫 14:30 O-177 Geochemical Variation in Papandayan Area. Abdurachman Mirzam・Yamamoto Masatsugu 14:45 O-178 北海道の火山活動の時空変遷。中川光弘・小杉安由美・長谷川 健・石井英一・石塚吉浩 15:00 O-179 碇ヶ関カルデラの層序とK-Ar年代。近藤 梓・山元正継・大場 司・安井光大・緒方武幸 15:15 O-180 オマーンオフィオライトのオフリッジ巨大溶岩。 海野 進	14:15 O-23 (招待) 地質百選、矢島道子 14:30 O-24 北九州周辺地域におけるジオパークの可能性。岡本真琴 14:45 O-25 北海道の地質とジオサイト。新井田清信 15:00 O-26 千葉県におけるジオパーク活動。会田信行・古関元正 東深海盆ジオパーク推進協議会 15:15 O-27 地域地質情報を用いた商品開発・布製品の試作 - . 斎藤 真・森尻理恵・真坂淑恵・坂寄裕代・國本節子・巖谷敏光 15:30 O-28 (招待) 地学オリンピックの新しい試み—グランプリ地球 にわくわくー。久田健一郎・瀧上 豊 15:45 O-29 (招待) 地団研埼玉支部の地ハイ。小幡喜一 16:00 O-30 エネルギー環境教育のための都市型ジオツアーエ 太田泰弘・金子二康・古賀久美子・野井英明 16:15 O-31 ジオトレインの環境教育への応用。野井英明・太 田泰弘・梅崎恵司 16:30 O-32 Twitterを用いた新しいジオツアーエ試み。齊藤 千帆・小峯慎司・伊藤太久・天野一男 16:45 O-33 地域の理解につなげる地質図の活用。松原典孝・ 先山 徹・天野一男・茨城大学地質情報活用プロ ジェクト 17:00 O-34 自然観察会「活断層を歩く」の企画と観察地図の 作成。川端清司・中条武司 17:15 総合討論
(15)	14:45 O-100 湖南省北西部のDoushantuo層について。古山精史 朗・狩野彰宏 15:00 O-101 北中国山東省の中部カンブリア系で認められる微 生物岩。江崎洋一・劉 建波・足立奈津子・小谷 綾香 15:15 O-102 南部中国のCarbonoschwagerina。上野勝美・早川 直樹・中澤努・王玥・王向東 15:30 O-103 秋吉石灰岩石炭系の腕足類密集層。比嘉啓一郎・ 松山哲男 15:45 O-104 秋吉帶海洋島石灰岩にみられるGzhelian-Asselian の礁生物群集。中澤 努・上野勝美・藤川将之・ 川幡穂高 16:00 O-105 喜界島最高位段丘の氷期サンゴ礁。佐々木圭一・ 稻垣美幸・大村明雄 16:15 O-106 琉球弧宮古曾根西縁に分布する石灰岩とその意義。 町山栄章・荒井晃作・松田博貴・井龍康文・ 千代延俊・佐々木圭一・ハンブレ マーク 16:30 O-107 初期淡水性続成作用に伴う炭酸塩鉱物の時間変化。 松田博貴・佐藤和也 16:45 O-108 鹿児島県安楽温泉のトラバーチン。奥村知世・高 島千鶴・狩野彰宏 17:00 O-109 石筍の同位体組成とその形成環境との関係。山田 努・富塚昌宏・松田博貴・吉村和久・菊地敏雄		

■MEMO■

※シンポジウムの講演には（S），トピックおよび定番セッションの講演には（O）の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧下さい。